



第14通信隊広報紙 令和6年1月号



発行所：第14通信隊
住所：〒765-0002
香川県善通寺市南町2丁目1-1
電話：0877-62-2311
(内線：2621 夜間：2628)

HPはインターネットでも確認できます。

「14旅団__通信隊」検索

又は右のQRコードを
読み取ってください。



新年の御挨拶



第14通信隊長
2等陸佐
小野田 怜

第十四通信隊の隊員諸官、ご家族の皆様、本誌をご覧の関係者の皆様、新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、平素より第十四通信隊に対する格別のご協力とご支援を賜り心から感謝申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の5類移行により以前の生活を取り戻しつつある一方で、国外に目を転じると、一昨年よりロシアのウクライナ進攻が継続する中、パレスチナ情勢において、またしても軍事衝突が生じ、我が国周辺においても、中国の力による一方的な現状変更や北朝鮮による挑発的行動等、国際情勢は予断を許さない状況になっています。

このような情勢下、第十四旅団において、システム通信及び電磁波、サイバーを担う我々通信隊の役割は一層重要なものとなり、その期待も高まっています。

昨年は三週間にわたる長期間の演習において、部隊の訓練成果である練度を評価する訓練検閲を受閲し、旅団長より「概ね優良」という良い評価を頂くことができたほか、その他の主要な訓練、支援においても通信隊は、その任務を「完璧」に果たすことができました。

これはひとえに、隊員諸官が高いモチベーションをもって任務に励んでくれていたのおかげであり、併せて、ご家族のご理解とご協力の賜物と深く感謝をしております。

また人材育成においても、一年間で7名の陸曹候補生と1名の幹部候補生を輩出することができ、本年は部隊としての益々の発展が期待できる一年となることを大変うれしく感じております。

第十四通信隊は、引き続き隊長以下一丸となつて隊務に精励し、国家の独立と平和、国民の皆様様の生命と財産を守るため、いかなる任務が与えられようとも必ず達成できる部隊を育成していく所存です。皆様におかれましては、引き続き変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとってより良い年となりますよう、お祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



新年の御挨拶

第14通信隊先任上級曹長
陸曹長 森本 耕平

新年あけましておめでとうございます。「善通」をご覧の皆様におかれましては健康やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスも五類感染症に移行し、ようやく以前の生活を取り戻しつつあり、制限を受けることなく練成訓練をはじめ、各種任務に一丸となつて邁進することができました。特に旅団演習の場においては配属・協同部隊の支援を受けつつ旅団検閲を受閲し、

令和5年度通信隊家族の日



乃木うどん



オリエンテーション



会食



餅つき

令和5年12月16日、善通寺駐屯地において、令和5年度通信隊家族の日を実施した。今年は第14通信隊創隊10周年を記念し、隊員家族に加えOB隊員を招待し、盛大に実施した。通信隊の活動紹介や餅つき、会食を通じ部隊の活動の理解促進を図った。

増強通信隊としての「戦闘力の最大限発揮」を具現し、又、隊員御家族の力添えもあり「概ね優良」の成果を上げることができました。

本年も隊長統率方針に寄与すべく要望事項を具現化し、風通しの良い隊風（環境）作り及び真に強く逞しい隊員の育成に努めてまいります。

皆様におかれましては、この一年が充実した素晴らしい年になりますよう祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

令和5年度第2次・第3次旅団演習

9月27日～10月16日までの間、大分県にある日出生台演習場において、令和5年度第2次・第3次旅団演習に参加した。隊は、北は北海道、南は九州から参集した多くの部隊とともに増強通信隊を編成し、3週間の長期にわたる演習を一致団結して戦いぬいたその結果旅団長より「概ね優良」の評価を受けることができた。



旅団演習終了後の集合写真



旅団作戦会議



通信組織の事前構成



編成完結式



システム防護隊によるサーバ防護



電子戦小隊による電磁波収集



衛星器材の開設



旅団無線系の維持運営



写真小隊の撮影任務



歩哨壕の作成



洋上機動間の衛星通信



炊事班による糧食の仕分け



ソイルアーマー構築

隊射撃競技会

令和5年11月7日及び11月13日に高知県にある高知射場において令和5年度通信隊射撃競技会を実施した。競技会では通信科隊員に必要な至近距離射撃能力について小隊対抗で競い合い、2日間にわたる射撃を実施した結果、通信連接小隊が二連覇を果たした。本競技会の成果をもとに選手を先行し、本年1月に実施される旅団競技会に向け、上位入賞を狙う。



至近距離射撃



点数の集計作業



射撃後の採点



表彰式

第6回隊訓練

令和5年12月4日～12月6日までの間、香川県に所在する大池訓練場及び国分台演習場において令和5年度第6回隊訓練を実施した。本訓練は旅団演習（大分県日出生台演習場・10月）のフォローアップとして実施したもので、新配置隊員の戦力化と、弱点の補強を主眼に練成し、本年を締めくくる訓練とした。



警戒自衛戦闘（警備予行）



車両誘導訓練

日本原演習場整備



整備前



整備後

令和5年10月23日～10月31日までの間、岡山県にある日本原演習場において令和5年度方面統制演習場秋季整備を実施した。通信隊からは40名が参加し、停弾提の整備、幹線道路の側溝整備を実施し、演習場の訓練環境の構築に寄与することができた。

安全の日

令和5年11月21日（22日）の間、香川県防災センターで、安全の日（年2回安全意識の高揚を図る行事）を実施した。防災センターでは、南海トラフ地震が発生した際の被害想定ビデオ視聴や、火災、暴風、地震に関する体験型研修を通じて自身や家族の初動の安全確保、被害極限の要領について学び、安全意識の高揚を図った。



消火体験



暴風体験



震度7体験

陸曹候補生2次試験



分隊教練



面接

令和5年8月22日～25日の間、11名の隊員が陸曹候補生2次試験を受験した。2次試験では面接、術科試験、戦闘技能試験及び体力検定が課される。受験生は緊張しながらも陸曹になりたい熱い希望を一生懸命アピールした。結果は2月頃の発表となる。